

## 12 県内ライブラリーの状況

ア、ライブラリー数 26

イ、ライブラリーの内容

予算総計 18,259,000円

(内、公費 4,241,000円、その他 1,401,800円)

教育映画フィルム所有本数16ミリ映画フィルム総数は 3,997本、8ミリ映画フィルム総数は 659本、学教用社教用その他の内訳

内 訳	学 教 用	社 教 用	教育劇その他
16ミリ	3,097	459	441
8ミリ	630	29	0

貸し出し範囲学校教育のみ8、社会教育のみ3、学校社会教育とも15。

専任職員のもつライブラリー数10、計10名。

## 第6節 芸術文化

### 1 概 況

芸術文化の振興は一朝一夕にして成果が上るものではない。とくに本県の如く、山村、漁村が多くへき地が点在している所においては都鄙の格差が高く、県下を一括にレベルアップするには、長年月を必要とし、市町村の文化行政の在り方にも多くの問題がある。

こうした問題点をとり上げ、豊かな県民文化を振興しようとして、昭和40年度には、2つの大きな柱を建てこれを重点施策とした。即ち折笠教育長の構想であるへき地教育の振興に呼応して、へき地文化振興を新規事業としてとり上げ、さらに市町村の行政指導を行なうために、「市町村における芸術文化行政」に関する研究協議会として文化振興会議をもった。これについては文部省芸術課長か、全国芸術文化講習会(前橋)において、本県の施策を多く評価して下さったことは、本県芸術文化行政が一頭他を抜いていることで、さらに努力すべきことである。

### 2 19回県総合芸術展覧会

(1) 日時 昭和40年6月1日～6月6日

(2) 会場 第一会場 白河市立第一小学校講堂  
(洋画、工芸)

第二会場 同 第三小学校講堂  
(日本画、彫塑青) 書

区 分	総 搬 入 数	公 募		招待 委嘱	総陳 列数
		搬入数	陳 列		
第一部日本画	76	61	58	15	73
第二部 洋画	256	206	155	50	205
第三部 彫塑	77	62	38	15	53
第四部 工芸	85	68	32	17	49
第五部 書	188	161	142	27	169
計	682	558	425	124	549

### (4) 審 査 員

◎審査長 ○審査主任 □委員長

日本画 ○大山忠作 常盤大空 佐藤金一郎

洋 画 ○古川盛雄 鎌田正蔵 斎藤正夫 吉田富美

彫 塑 ◎橋本高昇 太田良平 佐野文夫

工 芸 ○照井久良人 大竹五郎 鈴木三恵子

書 ○勝本竹享 佐々木折柴 平原春湖

運営委員

□青津清喜 阿部七郎 遠藤正三 大山忠作

加藤五郎 春日部たすく 照井久良人 中沢帰雲

藤本竹享 三坂耿一郎 高橋良一郎 針谷三男

渡辺到源 熊田猛大 丹野清栄

### (5) 受 賞 者

種 類	作 品 名	氏 名	住 所
。第1部 日本画			
県美術賞	花	若杉 正人	郡下北多摩郡保谷町上保谷113
	福島テレビ賞	〃	〃
特 賞	雄国残雪	安部 泰山	耶麻郡塩川町字源屋499
	民報賞	〃	〃
。第2部 洋画			
県美術賞	遠い時間	佐藤 守	福島市森合台の前3
	NHK賞	〃	〃
県美術賞	兄 弟	北郷喜三郎	勿来市植田町横町37-3
	河北賞	〃	〃
特 賞	知 獣	渡辺 辰吉	須賀川市南町99
	民友賞	〃	〃
特 賞		五十嵐光昭	千葉県千葉市東本町30
	民報賞	〃	〃
。第3部 彫 塑			
県美術賞	座 像	細井 良雄	東京都北多摩郡保谷町上保谷
	ラジオ福島	〃	〃
特 賞	青年試作	白沢 菊夫	福島市東浜町119
	白河市議長賞	〃	〃
。第4部 工 芸			
県美術賞	樹	秋葉 博寿	若松市湯川町7-11
	民報賞	〃	〃
市長賞	森 月月	佐藤 公平	会津若松市城前8-3
	山 里	宮川美智子	郡山市あみだ町23
。第5部 書			
文部大臣賞	王維詩	渡辺 紘川	田村郡三春町字文六90-2
	〃	〃	〃
県美術賞	曾我之蘭亭詩	安齊 春岳	郡山市菜根4丁目11-7
	民友賞	〃	〃
特 賞	万 葉 集	佐藤 羊郷	須賀川市弘法垣150
	福島テレビ賞	〃	〃

### (6) 入 場 者

第1会場	第2会場	計
3,231	4,044	7,275

## 3 第18回文学賞

### (1) 応 募 数

小 説 26 (38) 青少年 3  
詩 18 (22) 脚 本 2